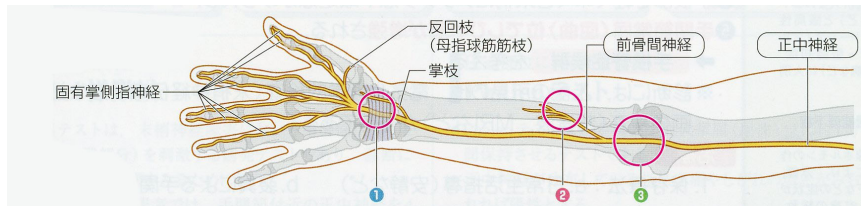


「正中神経麻痺」「尺骨神経麻痺」 「橈骨神経麻痺」

「正中神経」「尺骨神経」「橈骨神経」は、上肢の末梢神経の名称です。外傷や絞扼（こうやく：しめつけられること）・圧迫により傷害されることがあります。

正中神経麻痺

「正中神経」の走行：（図：右腕、掌側面）



・手根管症候群（「正中神経」低位麻痺）

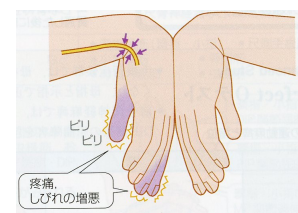
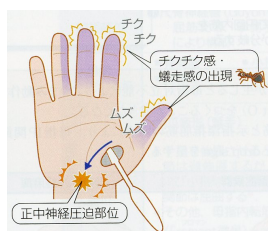
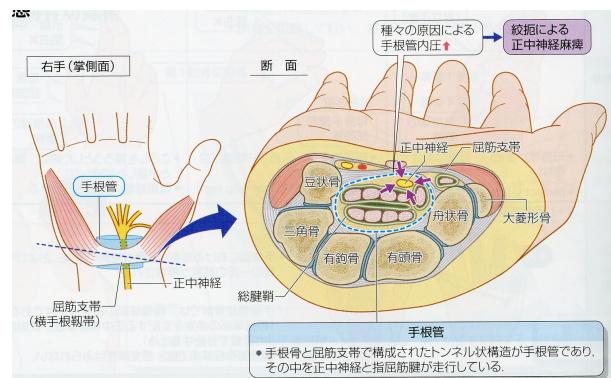
「正中神経」が「手根管」（*）内で絞扼・圧迫される絞扼性神経障害をきたす正中神経低位麻痺です。（図：上①の障害）

*：手首の部分にある骨と屈筋支帯（横手根靭帯）に囲まれた空間のことで、指を曲げる9本の腱と正中神経が通過します。（図右）

特発性、すなわち原因が不明のことが多いのですが、手の酷使（こくし）することによる腱鞘炎が関係することがあり、中高年の女性に好発します。

母指、示指、中指の掌側などにしびれやピリピリ感、疼痛があります。

手根部を軽く叩くと末梢にチクチク感や蟻走感（ぎそうかん：蟻が走っているような感覚）（Tinel 様徴候）がみられ（図 右：左）、手関節部の掌屈（屈曲）位でしびれ感が増強（Phalen テスト）され（図右：右）診断の一助になります。



・その他の「正中神経」麻痺には、回内筋症候群（正中神経高位麻痺）（図：上③の障害）、前骨間神経麻痺（図：上②の障害）があります。

尺骨神経麻痺

「尺骨（しゃくこつ、しゃっこつ）神経」の走行：（図：右腕、掌側面）



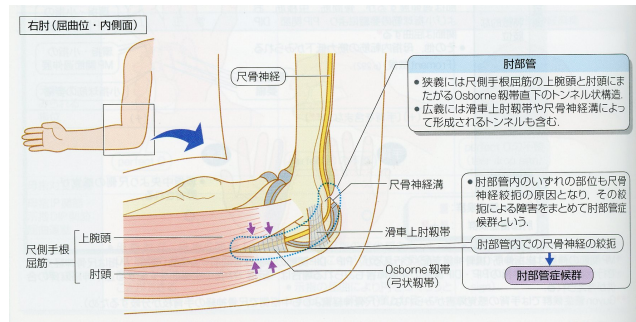
・肘部管症候群（「尺骨神経」高位麻痺）：（図：②の障害）

絞扼性神経障害の中で「手根管症候群」について頻度が高く、「肘部管」（図右）内で生じます。

肘関節を酷使するスポーツ（テニスなど）や職業に従事する人などの好発します。

小指の尺側にしびれ、感覚障害が起こり箸の使用などの運動が困難になります。

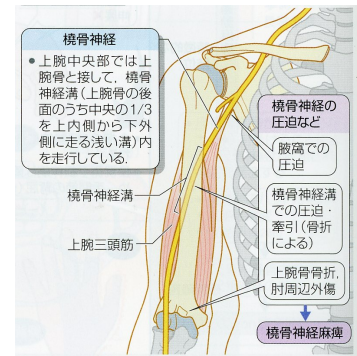
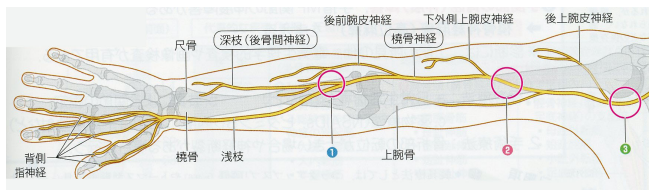
肘部を軽く叩くと末梢にチクチク感や蟻走感がみられます。（Tinel 様徴候）



・他に、ギオン（Guyon）管症候群（「尺骨神経」低位麻痺）（図：①の障害）などがあります。

橈骨神経麻痺

「橈骨（とうこつ）神経」の走行：（図：右腕、背側面）



・橈骨神経麻痺（「橈骨神経」高位麻痺）：（図：上②の障害）



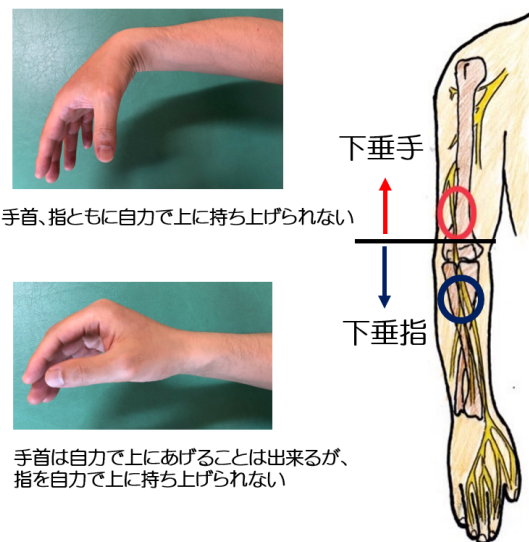
不良肢位での睡眠などでの圧迫（図左）により生じます。

母指・示指・中指の背側や手背の橈側に軽度のしびれ、疼痛がみられます。手関節の背屈（伸展）、手指MP関節の伸展障害が起こります（「下垂手」：図下）。

・後骨間神経麻痺（「橈骨神経」低位麻痺）（図：上①の障害）

手関節の背屈は可能で、全指の伸展は困難となります（「下垂指」：図右）。ただし、感覚障害は伴いません。

「橈骨神経」の深枝である「後骨間神経」はフロゼ（Frohse）のアーケードと呼ばれる線維性のトンネルを通過しますが可動性が少ないために障害を受けやすいとされています。（図左）



図は、「病気が見える vol.12 運動器・整形外科」<MEDIC MEDIA>、「すみだ整骨院」ホームページから引用しました。

この「診療所だより」や診療についての御意見・御要望などをお気軽にお寄せ下さい。これからの参考にさせていただきます。

編集・発行： 勝山諒亮

勝山診療所

〒639-2216 奈良県御所市343番地の4（御国通り2丁目）
電話：0745-65-2631